ぐるっと19町村 東。東北とかち

本別・足寄・陸別 ◎本別支局 ☎0
池田・浦幌・豊頃 ◎池田支局 ☎0

豊頃町

コミバス試験運行開始

2月末までデータ収集

試験運行が始まったコミュニティバス。町内全域を結ぶ

【豊頃】町は1日、誰でも無料で自由に乗降できる「コミュニティバス」の試験運行を始めた。農村部の住民や高齢者の〝足〟の確保が狙いで、来年2月末まで利用データを収集する。初日の利用者は計2人と少なかったものの、継続運行に期待する声が出ており、町は「今後もPRし、徐々に浸透させたい」と活発な利用を期待している。

継続に期待の声も

同バスは月～金曜日の週5日、町内を5地区に分けて運行。各地区と町中心部の茂岩市街、JR豊頃駅を1日数往復で結ぶほか、幕別町と接する地域の住民が帯広方面に向かう利便を考え、一部の便は幕別駅まで走る。

路線上のどこでも手を挙げれば止まる仕組みで、乗車料金は無料。路線と主な停車場所、時間を記した運行裏が全戸に配布されている。町は試験運行3カ月間の利用状況を見て、来年4月以降の本運行の是非と運行路線を判断したい考えだ。

初日は牧文内、十弗西区、豊頃、銀岡地区と、茂岩市街、豊頃駅などを結ぶ路線を運行した。自宅近くから役場まで乗車した女性（60）は「車のない高齢者には、こんなにありがたいことはない」と大喜び。これまでは月1回、役場へ行くのにタクシーを利用、買い物は便利屋業者に依頼し、これで月8000円ほどかかっていたという。「豊頃で暮らしたくても、足がなくて出ていくお年寄りも多い。定着すれば、みんな喜ぶと思う」と話していた。

町は役場や豊頃医院、歯科診療所ほか、スーパーやコンビニなどへの買い物需要もあるとみており、「今後、利用が増えてくれれば」（福祉課）と引き続きPRする考え。宮口孝町長は「町民、お年寄りの足を確保したい。高齢者もまちに出て交流を深めたり、買い物をしたりと利用してほしい。来年以降も運行を続けたい」と話している。

運行表は役場福祉課でもらえる。問い合わせは同課福祉係（0155・574・2214）へ。

（小林拓己）

生涯学習の活動発表を見て回る来場者

生涯学習活動を発表

ほんべつふれあい祭り

【本別】生涯学習活動に取り組む団体、サークルが一堂に会する「いきいき ほんべつ ふれあい祭り」（実行委員会主催）がこのほど、町体育館で開かれた。

同イベントはかつて単独開催だった「婦人まつり」「健康まつり」「福祉まつり」「消費生活まつり」を一本化した催しで、02年から開催。町中央公民館で日本生涯学習フェスティバル」とも連動し、学習に携わる町内の団体が活動の成果を発表した。

会場では、悪質商法や交通安全、環境保全などの各種パネル展、各種作品や加工品の展示・販売、ステージ発表などが行われた。健康チェックコーナーでは、人間ドックやそれぞれの病気などには人一倍詳しいもにぎわった。

組合員に商品券配布

足寄町職労 ふるさと購買運動 総額1130万円

商品券を受け取る町職労の組合員

【足寄】町職員労働組合（丸山一人委員長、162人）は1日、「ふるさと購買運動」として町商工会（新沼謙典会長）から購入した商品券について、組合員への配布を始めた。商品券の総額は1130万円で、「地域の店を利用する良いきっかけになる」（田中剛已副委員長）としている。

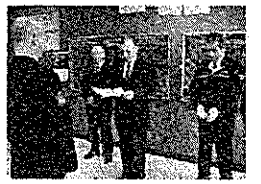
4日まで、納付額に応じた商品券を組合員に配布。初日は88人が受け取った。総務課の金田篤さん（27）＝清水町出身＝は「灯油などの燃料費や炊飯器購入に使いたい。基本的に町内で買い物をしているが、地域の役に立てるようにしたい」。地元出身で住民課の岩渕和恵さん（40）は「家具を買い替えたい。休日に開いていない店もあるので、買いに出る日は週ばないと」と話していた。

商品券の利用可能期間は10日から来年6月9日まで。田中副委員長は「定住促進に向けた活動として、利用状況なども調査していく」と話している。

町職員には町外の出身者も多く、週末に帯広市内の大型店などでまとめ買いをする人も少なくない。このため、町職労は地域経済活性化を目的に商品券の購入を計画。組合員は4～11月に、組合員とは別に毎月給与の3%（組合員平均8600円）を「ふるさと購買運動特別組合費」として納めてきた。

（宮木崇久）

■本別　建設業協会が交通安全宣言



本別建設業協会（野田仁会長）は1日、加盟全事業所を挙げて交通安全に取り組むことを宣言した。野田会長らが本別署を訪れ、畠山隆署長に誓った。

同協会は、道警が例年12月に展開する「交通死亡事故抑止ファイナル作戦」に合わせて交通安全を宣言。今年は交通安全教育の推進やシートベルト着用、過労運転の撲滅など5項目を盛り込み、野田会長が安全運転の徹底を誓う宣言文を読み上げた＝写真。

たうん

■浦幌　歌やはしご乗りに拍手

上浦幌ひまわり保育園（下坂美佐江園長、園児12人）の「おゆうぎ会」がこのほど、同保育園で開かれた。

園児たちは大勢の父母や祖父母らに見守られ、歌や遊戯を熱演＝写真。全園児でつくる「上浦幌ひまわり幼年消防クラブ」は、年長児が地域伝統のはしご乗りを披露。緊張し

そば打ち愛好会の会員（左）から手ほどきを受ける子供たち

自分で打ったそば おいしいね

浦幌 和ごころ体験塾に30人参加

【浦幌】「和ごころ体験塾」（二瓶隆会長）のそば打ち体験教室がこのほど、町コミュニティホールで開かれた。幼児から大人まで約30人が参加し、自ら打ったそばを味わった。

同体験塾は、（馬場幸弘会長）スポーツ少年団保会長）が行っ「ころ体験」事業発展させ、一般げた。茶道や陶多様な伝統文化かな子供を育てしている。

この日は浦幌好会の須藤富雄が、そば粉を練切るまでを丁寧後、母親らも手ゆでられ、てんって参加者を喜同愛好会が研

強盗や振り込め詐欺の防止を

金融機関等防犯協

【池田】池田等防犯連絡協議野博之北洋銀行